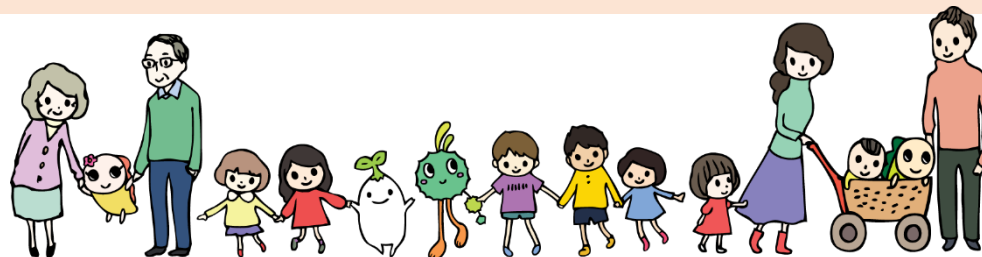


## 3~4月に実施した子どもからの意見聴取の取組・内容等について（報告）

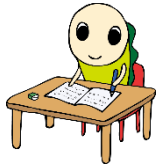
1. 子ども日本語教室（中学生）へのヒアリング（3月12日）の実施報告<2 p>
2. 「子どもワークショップ」について<3 p>
  - 1. 「子どもワークショップ」リハーサル（3月24日）の実施報告<4 p>
  - 2. 「子どもワークショップ（シーズン2）」第1回（3月24日）の実施報告<5 p>
  - 3. 「子どもワークショップ」第4回（3月30日）の実施報告<6、7 p>
  - 別紙「子どもワークショップ（シーズン2）」第2回（4月21日）の実施報告<別紙\_資料5\_8 p>



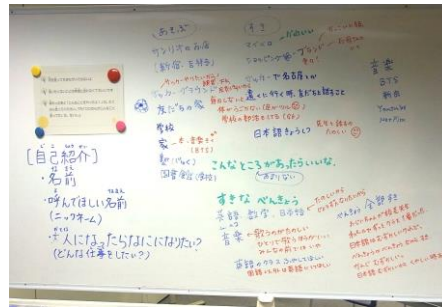
## 1. 子ども日本語教室（中学生）での意見聴取（3月12日実施）

杉並区、杉並区交流協会及び杉並区教育委員会が協力し、令和5年1月に開講した「子ども日本語教室」に通っている外国にルーツを持つ子どもたちのうち、中学生（済美教育センター教室）を対象に意見聴取を実施しました。

- 日本語の習熟度や初対面の大人とも話せるという観点等から事前に声をかけた子どもと、希望した子どもの計6名が参加しました。（学年は中学2年生、国籍は、中国、ネパール、タイ）
- 意見聴取は、子ども3名と職員2名の計5名を1グループとし、「居場所」と「学び」に関連する質問をし、子どもたちから普段感じていることを自由に答えてもらいました。
- 日本語を母語とせず、日本語の習得が不十分な子どもは、意見表明の手法の選択肢や機会が限られることから声をあげにくい状況にあり、聴く側の工夫や配慮が特に必要とされるという点を考慮して以下の工夫をしました。
  - ・ 事前に、教室の講師や子どもたちと関わっている職員と打ち合わせをした上で、子どもが落ち着いて話せるように、会場をいつも通っている教室の隣に設けました。
  - ・ リラックスした雰囲気子どもたちが話せるように、車座になって実施しました。
  - ・ 子どもたちが話した内容をわかりやすく共有するために、ホワイトボードを活用しました。



グループでのヒアリングの様子



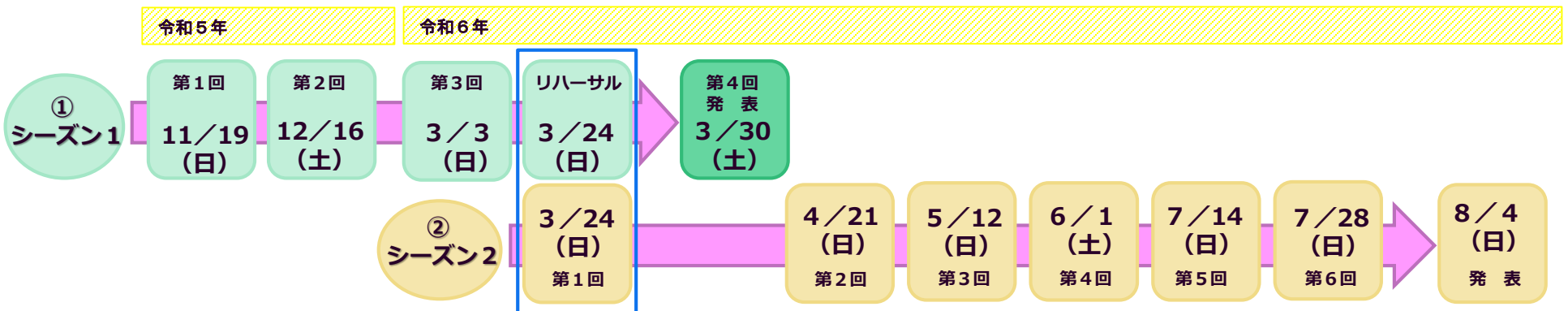
ホワイトボードの活用

### <子どもたちの意見（抜粋）>

- ・ 吉祥寺や新宿に買い物に行くのが好き
- ・ 公園で友達とブランコに乗って話をするのが好き
- ・ 家でひとりで歌ったり、動画をみて過ごすのがいい
- ・ 日本語教室は先生と話すのが楽しい
- ・ 日本語は勉強するのが楽しいし、上手になりたい
- ・ 勉強は好き。でも、（母国では）勉強ができたのに、日本語が難しく成績が下の方でくやしい時がある

## 2. 「子どもワークショップ」について

- 区では、子どもの権利について理解を深めたうえで、もっといい杉並区にするためにグループで話し合う「子どもワークショップ」を令和5年11月から令和6年3月まで全4回で実施してきました。（シーズン1：下図①）
- また、今よりもっといい杉並をつくっていくために、令和6年3月から「杉並区子どもワークショップ（シーズン2）」の参加者を新たに募集し、「子どもの権利を守るために必要なこと」や「安心して過ごすことができる居場所」について、子どもたちの声を聴きながら一緒に考えていくこととしています。（シーズン2：下図②）
- 令和6年3月24日（日）には、シーズン1の発表リハーサルと、シーズン2の第1回ワークショップを同日開催しました。
  - ・第1部は2会場に分かれ、シーズン1では最終回に向けて発表内容を確認したり、当日のリハーサルを行いました。シーズン2では「子どもの権利」の講義を聞き、ワークや事例検討を行い更に理解を深めました。
  - ・第2部は1会場に集まり、シーズン1のリハーサルの見学と、シーズン1の成果物「なにそれな?!すごろく」で一緒に遊び、交流しながら日常の身の回りの出来事を子どもの権利の視点で考えたりしました。  
 <詳細は4・5ページ参照>
- 令和6年3月30日には、シーズン1の最終回（第4回）として、区長や子どもの権利擁護の審議会の委員に向けて、参加したきっかけやワークショップで学んだり活動してきた内容の発表や、「なにそれな?!すごろく」の体験交流、参加者全員での意見交換会を行い、約5か月の活動を終わりました。  
 <詳細は6・7ページ>



## 2-1. 「子どもワークショップ」(リハーサル)の実施報告(3月24日実施)

日時：令和6年3月24日(日) 9時30分～12時30分 場所：杉並区役所 第4会議室

参加者：9名(内訳は下記のとおり)

参加者内訳	学 年	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3
人 数	2	0	1	0	2	3	0	0	0	1

- ワークショップ(リハーサル)では、第4回で行う区長や子どもの権利擁護の審議会の委員に向けた発表の練習とリハーサルを行いました。
- まず本番にむけた練習として、本番と同じようにサークル状に並び、ワークショップ第3回で作成したワークシート(ワークショップに参加したきっかけや、やってきたこと、大切にしたい思い等)を順番に読みあげていきました。
- 練習終了後、練習を見ていた職員等の大人からアドバイスをもらい、発表の仕方や内容をブラッシュアップしていきました。
- 次に、司会者からのインタビュー形式で本番同様のリハーサルを行いました。リハーサルの際には、同日開催の子どもワークショップ(シーズン2)の参加者が見学に来ました。
- 発表する子どもたちの4倍近くの人数が見学を訪れ、最初は緊張しながらの発表でした。しかし、発表が進むにつれてその緊張も解け、見学に来ていたシーズン2からのアンケートでも好評の発表となりました。
- 見学をしたワークショップ(シーズン2)参加者の感想

- 「シーズン1の活動をわかりやすく知ることができてよかった」
  - 「参加者同士が仲良く話しているのが印象的だった」
  - 「1人1人が違う意見を持っていて面白かった」
- 等

- リハーサル終了後、子どもワークショップ(シーズン2)も含めた参加者の交流会として、みんなで「なにそれな?! すごろく」をしました。
- 「なにそれな?! すごろく」を初めて見るシーズン2の参加者に対して、すごろくを作った子どもワークショップの参加者である子どもたちが各班に分かれ、説明をしながら一緒に遊びました。すごろくをすることで子どもの権利について学ぶだけでなく、参加者同士の仲も深まりました。



ワークシートを見ながら練習中



発表がんばるぞ!



シーズン2の参加者の前でリハーサル



大人数の前に若干の緊張...



シーズン2の参加者と一緒に「なにそれな?! すごろく」をする様子



「なにそれな?!カード」を読むシーズン2の参加者



## 2-2. 「子どもワークショップ (シーズン2)」 (第1回) の実施報告 (3月24日実施)

日時：令和6年3月24日（日）9時30分～12時30分 場所：杉並区役所 第4・5・6会議室

参加者：40名（内訳は下記のとおり）

参加者内訳	学 年	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3
人 数	10	9	5	2	4	4	3	3	

●ワークショップ(シーズン2)第1回では、子どもの権利について野村先生からの講義、同日開催の子どもワークショップ(発表リハーサル)の見学と交流を行いました。(※見学と交流については、P4に記載。)

●野村先生からの講義の中では、みんなが考える「当たり前持っているもの」とは何か？を付箋に書き出してもらいました。付箋に書き出したものは、4つの権利のうちどの権利に当てはまるのかを考え、子どもの権利について理解を深めていきました。

●当たり前にもっているもの

- 生きる
- 歩く
- 教育
- 動くこと
- 食べること
- 飲むこと
- 話すこと
- スマホ
- 感情
- 発言すること
- お金
- 遊ぶ
- 学ぶ
- 睡眠
- 夢を追うこと
- 寝ること
- 笑顔
- 癒し
- 防寒
- スクールカウンセラー
- 病院
- こども食堂
- ガス等
- ふとん

●次に「公園に1つしかないブランコを、みんなが使いたいと思っている場合、誰にどのような権利があるのか」という、もう少し身近な場面から権利について考えてみました。」

問題1「Aさんは、公園に一つしかないブランコに乗っています。Aさんにはブランコに乗る権利がありますか。」

問題2「Aさんは、公園に一つしかないブランコに乗っています。次にブランコに乗りたいBさん、Cさん、Dさんがやってきました。Bさんにはブランコに乗る権利がありますか。」

問題3「次にブランコに乗りたいBさん、Cさん、Dさんがやってきました。あなたがBさんだったら、どうしますか？ その理由は？」

問題4「Aさんは、気にせず、ずっとブランコに乗っています。あなたがAさんだった場合、どうしますか？  
①すぐにかわる ②すこし乗ってからかわる ③かわらない その理由は？」

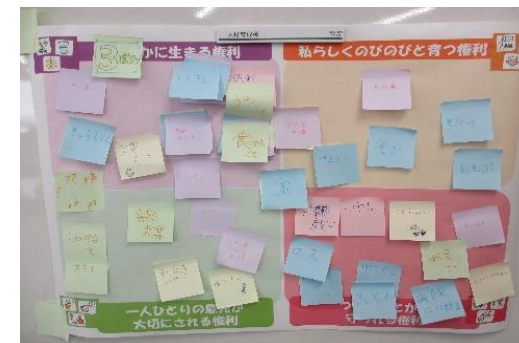
●参加者からの意見

- ①すぐにかわる
- ・Bさんにもブランコに乗る権利があるから
  - ・小さいころから順番で交代してきたから
  - ・揉めるのはめんどくさいから など

- ②すこし乗ってから代わる
- ・Aさんにもブランコに乗る権利があるから など



のむさん(野村先生)の講義を聞く参加者



「当たり前持っているもの」を4つの権利に分類

## 2-3. 「子どもワークショップ」(第4回)の実施報告(3月30日実施)①

日時：令和6年3月30日(土) 9時30分～12時30分 場所：杉並区役所 第4会議室  
参加者：9名(内訳は下記のとおり)

参加者内訳	学 年	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3
人 数	2	0	1	0	2	3	0	0	1	

●第4回では、区長や子どもの権利擁護に関する審議会委員に向けた発表を行いました。当日は、上記の大人に加えて、参加者の保護者も会場に見学に来ました。また、杉並区の報道番組である「すぎなみスタイル(右記二次元コード参考)」の取材としてJ:COMのスタッフによる撮影も行われました。



●第4回は、「参加者からの発表 → 区長・審議会の委員等を交えて「なにそれな?!すごろく」を行う → 意見交換会」という流れで進行していきました。

●発表では、これまで参加してきた過去3回のワークショップ振り返り、参加したきっかけ、やってきたこと、大切にしたい思い等を司会者からのインタビュー形式で発表していきました。

### ●発表で出た意見

Q: 参加したきっかけは何ですか?

A: 近所の児童館が何年前かに急に無くなることになり、その後でできた代替りの場所も十分だと思えないということがあった。この経験に対しての自分の意見を直接伝えたいと思ったから。また、自分の経験を、子どもにとって居心地の良い居場所を作るために活かせるとおもったから。



発表中の様子



司会者からの質問に回答する参加者

Q: 子どもの権利について学び、考えたことは何ですか?

A: 子どもの居場所について考えました。例えば、杉並区の場合だと、中高生の居場所としてゆう杉並があります。ゆう杉並はワークショップの第1回で見学をし、とても施設が充実していて素晴らしいと思いました。最近では、ボール遊び禁止等、公園はほとんど機能していないのが現状です。今は阿佐谷周辺の子たちしか、子どもの居場所をが提供されていないので、(みんなが)通える距離で用意する必要があると思いました。

Q: 「杉並区を子どもにやさしいまちにするためにもっとこうなったらいい」と思うことはありますか?

A: 子どもたち同士での交流が活発になったり、「ワークショップ」という形でなくても権利について話し合うことができ、誰でも気軽に参加できる場所を作ってほしいです。

## 次第

- 1 開会挨拶
- 2 区長挨拶
- 3 参加者自己紹介
- 4 子どもワークショップ  
参加者による発表
- 5 なにそれな?!すごろくで遊ぶ
- 6 意見交換会
- 7 参加記念品贈呈
- 8 閉会挨拶



〈閉会挨拶後、記念撮影を行います。〉

## 2-3. 「子どもワークショップ」(第4回)の実施報告(3月30日実施)②

7

●区長や審議会委員等を交えてのすごろくでは、「なにそれな?!すごろく」の遊び方を子どもから大人へ説明しながら進めていきました。すごろくを進めていく中で、すごろく内に書かれていること以外についても会話が弾み、子どもと大人で様々な意見を交わすことができました。

●意見交換会では、まず大人側から子ども側へ、続いて子ども側から大人側へと順番に質問をしていきました。

### ●大人から子ども側への質問

Q: 「なにそれな?!すごろく」をどのように広めていくのがいいと思いますか?

A: 「学校の授業のなかで使用したり、児童館に設置したりして誰でも遊べるようにしておく」  
「大人版ワークショップを開催してその中で大人にも遊んでもらう」  
「すごろくを楽しみながら学んでもらうのはもちろんのこと、遊ぶ中で真剣に子どもの権利について考えてほしい」  
「SNSを活用して普及啓発する。普及啓発の時も、子どもの権利について知ってもらう仕組みを作る。」  
「広報すぎなみに、すごろくをした子どもと大人の感想を掲載して広める。」

Q: 子どもの権利について、もっと多くの人に知ってもらうためにどんなことができるか?

A: 「なにそれな?!すごろく」のように、楽しみながら学べると広まると思う、  
「友達づくりのきっかけとして、広めていきたい」

Q: 今後、ワークショップのような場・機会が設けられるとしたら、『こうなってほしい』等のアイデアはありますか?

A: 「体を動かして交流を深めるような機会があればいいなと思う」「みんなの意見が書かれた一つの旗を作りたい!」  
「ゆう杉みたいな子どもに関する施設の見学に行ってみたい!」  
「参加者の中で、共通の話題がたくさん見つかると話しやすい」「他自治体の人と交流する機会があると良い」

### ●子どもから大人側への質問

Q: どのくらい権利を知っているのか聞いてみたいです。

Q: 条例を作って実際にどんなところが変わって子どもにとってよくなるのか?

●最後に、区長からの参加記念品の贈呈と参加者全員での記念撮影を行い、リハーサルを含めた全5回のワークショップは終了となりました。



「なにそれな?!すごろく」をする参加者



意見交換会の様子



第4回(発表)の参加者集合写真